

丁寧な仕事で 信頼を積み上げ

株式会社 REP POWER 代表取締役

笠松 一久さん

Kazuhisa Kasamatsu



静岡市にゆかりがあり、東京を拠点に内外で活躍する皆様に、東京から見た静岡市の良さと可能性、まちづくりの方向について、ご提案いただきます。

安心、安全がモットー

三十数年勤めた大手損害保険会社を辞め、3年前にREP POWERを立ち上げた。損保会社では営業職として全国各地の支社、支店勤務を経験した。「その時に、取引先の経営者から人材、福利厚生、省エネシステムなどをトータルで提案し、実行してくれる会社があると有り難いという声を多く聞きました。それが独立のきっかけでした」。



経歴

石川県(本籍金沢市)生まれ。富山大学経済学部卒業、1978年、安田火災海上保険株式会社(現・株式会社損害保険ジャパン)入社、本社、大阪自動車営業部、金沢支社、高知支店、岐阜支店、熱田支社(名古屋)などで営業職を担当。2011年、株式会社 REP POWERを設立、代表取締役に就任。

静岡・静岡関東同窓会副会長、異業種交流会事務局長を務める。59歳。

<http://rep-power.jp>

「REP(レップ)」という言葉は、日本ではまだなじみが薄いですが、笠松さんによると、米国では優良メーカーの良質商品やシステム、サービスなどを提案する「レップ制度」として広く活用・運用されているという。安心、安全をモットーに、①パソナグループの代理店として、企業向け福利厚生、メンタルヘルス各サービスの紹介等、②節水、節電策の提案—などを手掛ける。「信頼できる業者をどう選定するかなど、当初は試行錯誤の連続だったが、やっと(社業が)

軌道に乗ってきました」。

昨年、東京都台東区の区立温水プール
の電気代を年間100万円削減する実績
を上げた。「二つの仕事を丁寧によれば
それが信頼につながり、やがてすそ野が広
がる。これからも安心、安全(商品)を誠実
に提供し、信頼を積み上げていきたい」。

目線を変えて宣伝を

父親の仕事の関係で中学3年の時に静岡市に転居。高校の3年間と合わせ4年間を市内で過ごした。東京から静岡を改めて眺めてみると、「さまざまな観光資源があるのだから、もっと上手に宣伝すべきでは」。

「ゆるキャラを登場させたり、目線を変えて、日本平や三保松原から見た富士山の絶景、浅間山、久能山東照宮・石垣いちご狩り、清水次郎長生家、秘湯梅ヶ島温泉などをうまく組み合わせる国内外に強くアピールしたらどうでしょう」と提案する。

低迷していた訪日外国人旅行者数が増加に転じ、昨年初めて1千万人を突破した。「静岡空港はあるし、東京、名古屋からも近い。中国・台湾や韓国の人たちをもっともっと静岡に呼び込めるはず」。

静岡オリジナルの黒はんぺんは、県外でも根強い人気がある。「黒はんぺんを使ったB級グルメの全国イベントもいいですね」と笠松さん。B級グルメ花盛りの昨今、黒はんぺんブームが起きて不思議ではない。

(文・写真：長田義明)